

## 「再び、エジプトへ」

2021年07月01日

「さあ弟を連れて、すぐにその人のところに帰りなさい。どうか、全能の神がその人の前でお前たちを憐れみ、もう一人の兄弟とベニヤミンとを返してくださるように。子どもを失わなければならないのなら、失うまでだ。」(創世記 43 章 13 節～14 節) ヨセフはベニヤミンと一緒にいるのを見て、家の管理者に言った。「この人たちを屋敷へ連れて行きなさい。そして、家畜を屠って食事の支度をしなさい。この人たちは私と一緒に昼の食事をするからだ。」(創世記 43 章 16 節)

カナンは飢饉は激しく、エジプトから持ち帰った穀物を食べ尽くした。父ヤコブは息子たちに、「もう一度行って、食料を僅かでも買って来なさい」と命じた。四男のユダが、「あの方は私たちに厳しく命じられたのです。『弟と一緒にいなければ、私の顔を見ることはできない。』もし弟と一緒にいってくださるなら、私たちは下って行って、あなたのために食料を買ってきます。しかし、もし一緒にいなければ、下って行きません。『弟と一緒にいなければ、私の顔を見ることはできない』とあの方がおっしゃったのですから」と応じた。ヤコブは、「なぜお前たちは、もう一人弟がいるとその方に言って、私を苦しめるようなことをしたのか」と言った。末の息子ベニヤミンを何としても手放したくなかった。彼らは、「あの方は私たちのこと、家族のことについて『お前たちの父親はまだ生きていますか』、『お前たちには弟がいるのか』などとしきりに尋ねたのです。ですから私たちは問われるままに答えました。お前の弟を連れて来いなどと言われようとは思いませんでした」と答えた。ユダは父を説得した。「あの子を私と一緒にいってくださいます。すぐにでも出かけます。そうすれば、私たちも、あなたも、幼い子どもたちも死なずに生き延びることができます。あの子のことは私がその安全を請け合います。その責任は私が取ります。あの子をお父さんのもとに連れ帰らず、あなたの前立たせることができないならば、私は生涯あなたに対してその罪を負い続けます。」この時から、ユダが主導するようになった。彼は現実を的確に把握する能力に長け、エジプトの宰相は強大な権力を持っているが、話せば分かる人であると理解していたのではないかと。また、兄弟たちにも信頼されていたようだ。

ヤコブはユダの説得を受け、ベニヤミンをエジプトに連れて行くことを承諾した。「それではこうしなさい。この地の名産を入れ物に入れて、その方への贈り物として携え、下って行きなさい。… また、二倍の銀を持って行きなさい。布袋の口に戻されていた銀は持って行ってお返しするのだ。恐らくそれは何かの間違いだったのだろう。さあ弟を連れて、すぐにその人のところに帰りなさい。どうか、全能の神がその人の前でお前たちを憐れみ、もう一人の兄弟とベニヤミンとを返してくださるように。子どもを失わなければならないのなら、失うまでだ。」ヤコブはヨセフを失った後、ベニヤミンを溺愛していた。しかし、食料がなければ生きていけない。子どもを失っても仕方がない。人質に取られたシメオンとベニヤミンの無事の帰還を願っての決断であった。

兄弟たちは地の名産の贈り物を携え、食料のための二倍の銀、袋に戻されていた銀を持ち、ベニヤミンを連れてエジプトに下って行った。そして、ヨセフの前に立った。ヨセフはベニヤミンと一緒にいるのを見て、家の管理者に、「この人たちを屋敷へ連れて行きなさい。そして、家畜を屠って食事の支度をしなさい。この人たちは私と一緒に昼の食事をするからだ」と命じた。二十数年ぶりに、12人の兄弟と一緒に集う時が来た。